

=====

◆◇「犯罪からの子どもの安全」メールマガジン vol.4 ◇◆
2008年12月24日号

=====

このメールマガジンでは、(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(以下、RISTEX)「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域が領域の活動報告をはじめ、各種イベント案内、国の取組み、問題に取り組む人々の紹介など、犯罪からの子どもの安全に関する様々な情報を毎月一回程度配信しております。

次回から配信を希望されない方、登録情報を変更したい方は、末尾をご参照下さい。

メルマガについてご意見やご感想、こんな情報が知りたい、こんな取り組みを行っているなど、皆様からの情報をお待ちしています！

◆◆ INDEX ◆◆

1. 犯罪からの子どもの安全レポート
-2008年子どもの安全を振り返る ~ネット問題について~
-合宿レポート
2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報・今月の見どころ
3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング
今月一番注目されたコンテンツとは・・・



1. 犯罪からの子どもの安全レポート

皆さん、こんにちは！

2008年も残りわずか。
皆さんにとって、今年はどうのような一年でしたか？

(財)日本漢字能力検定協会が決定した2008年「今年の漢字」は、『変』。
<http://www.kanken.or.jp/event/kotoshi.html>

「良くも悪くも変化の多かった一年」ということで、全国11万人の応募で選ばれたものですが、「犯罪からの子どもの安全」についてはいかがでしたでしょうか？

今年の特徴の一つとして、インターネット、特に携帯電話を入口として子どもが犯罪やいじめに巻き込まれる問題が報道などでも注目を集めたことがあげられます。

ウェブサイトの「国の取組み」を更新していても、この問題に目が止まります。

児童の携帯電話所持の賛否についても議論がなされていますが、これも技術が社会に普及し、生活スタイルや行動等が変化したことの1つです。今回のレポートでは、この問題について紹介していますので、どうぞご覧下さい。

さて、領域活動についてです。

今年、何よりも大きな変化としては、新たに4つのプロジェクトがスタートしたことです。研究開発として扱う問題の幅が広がると同時に、これまで以上に異なる立場・分野の人々がこの問題に取り組んでおり、新たな協働が期待されます。

が、まずはお互いを知ることです。

つい先日、8つのプロジェクト実施者を含め、領域関係者約30名が集まり1泊2日の合宿を実施しました。レポート2本目は、この時の模様をお伝えしていますので、どうぞお楽しみに♪

また、1月に「犯罪からの子どもの安全」ウェブサイトを立ち上げ、このメルマガ配信を始めたことも、大きな変化の一つです。

犯罪・子ども、どちらの専門家でもない領域担当が、活動を通じながら成長・変化する様子を、来年以降もどうぞ見守って下さい。

どうぞ良いお年を！



●2008年子どもの安全を振り返る ～ネット問題について～

朝日新聞に今年掲載された記事の中から「子ども 被害」をキーワードに検索したところ、1,219件のヒットがありました。
(検索期間：2008年1月1日～2008年12月12日)

さらに「子ども 被害 ネット」で絞り込みを行ったところ、197件のヒットがありましたが、これは単純計算で2日に1回以上のペースでネットに関する何らかの記事が掲載されていたことになります。

先日、ネット問題に取り組んでいる方にインタビューをしたところ、「少し前までは、ネット犯罪と言えば、ハッキングや詐欺・悪質商法といったイメージだったのが、最近では、子どもたちが嫌な思いをしたり、事件に巻き込まれたりするケースが目立ってきている。」との声も聞かれました。

具体的な事例としては、「学校裏サイト」(小、中、高生達が、学校の公式サイトとは別に同じ学校に通う生徒たちのコミュニケーションの場として立ち上げた非公式なサイト)での誹謗・中傷や、「プロフ」と呼ばれるサイトに自分のプロフィールを公開した結果、不特定多数に個人情報が出し、それを悪用されてしまうなどといったケースです。

こういった状況を何とかしようと、いろいろな方面から検討・実施がなされていたように思います。

記憶に新しいところだと、「学校裏サイト」を「裏サイト」ではなくする
ページ(2)

ことによってトラブルを抑えようと、リンク集を開設したところもありました。

学校裏サイトリンク集：<http://www.web-mind.jp/gus/>

また、行政の対応に注目してみると、複数の省庁で様々な取り組みが行われていました。このことから、ネット問題対策の重要性が見て取れます。省庁ごとの取り組みについて、「国の取り組み」で掲載したもののなかから、ほんの一部ですが、以下にご紹介します。

<内閣府>

- ・青少年インターネット環境の整備等に関する検討会の開催

<警察庁>

- ・啓蒙ビデオやパンフレットの作成
- ・インターネット異性紹介事業を利用して児童を誘引する行為の規制等に関する法律の一部を改正
- ・インターネット異性紹介事業の定義に関するガイドラインの制定
- ・出会い系サイト規制法の改正

<総務省>

- ・「インターネット上の違法・有害情報への対応に関する検討会」の開催
- ・携帯電話・PHSのフィルタリングサービスの改善等に関する携帯電話事業者等への要請

<文部科学省>

- ・「青少年が利用する学校非公式サイトに関する調査」の実施
- ・ネット安全安心全国推進会議の開催
- ・「ネット上のいじめ」に関する対応マニュアル・事例集（学校・教員向け）の作成

その他、省庁合同で、都道府県等への子どもの携帯電話等におけるフィルタリングの普及促進のための啓発活動の依頼を行ったりもしていました。

その他の取り組みについてはこちら

→ <http://anzen-kodomo.jp/ministries/>

当領域でも、市民ボランティアが子どもたちのネット遊びを見守るためのシステム開発や人材育成を目指したプロジェクトがあります。

プロジェクトの詳細はこちら

→ http://anzen-kodomo.jp/program/research/h_shimoda.html

正しく利用すれば便利で多くの可能性を秘めたツールであるネット。ただ一方的に「危険だから」と壁を作って近寄らせないだけでなく、その危険性を子どもたちが十分に認識すること、そして、そのための責任を大人が自覚することが、安全・安心なネット利用への第1歩かもしれません。

（領域担当 S.F.）



●「犯罪からの子どもの安全」領域合宿 レポート
2008年12月20日（土）～21日（日） 東京都千代田区

冬らしい晴天にめぐまれた2日間、8つの研究開発プロジェクト実施者、領域マネジメントグループ総勢約30名が集まり、領域合宿を開催しました。

この領域合宿とは、その名のとおり、泊りがけで「犯罪からの子どもの安全の問題について語り合おう！」という場で、昨年度に続き2回目です。プロジェクトを実施する側・領域運営を考える側が一同に集まって、意識共有を図り、交流の機会となることを目的としました。

まず1日目は、お互いの自己紹介として、センターや領域、プロジェクトの紹介を行い、続いて「プロジェクト間の関連について」自由討論を行いました。事前宿題として、領域Webを見て他プロジェクトのどんなところに興味・関心があるのか、「第一印象」を考えて頂いたのですが、実際に各発表を聞き、印象が変わったという声もあり、予定時間を上回るディスカッションとなりました。

プロジェクト間の関連以外にも、昨今、子どもの使用について注目を集めている携帯電話が話題となりました。携帯電話を活用するプロジェクトでは、その良い面・悪い面を含めて議論が始まっている模様。

1日目終了後も、プロジェクト間で積極的に交流がはかられたようです。

2日目は、1日目のディスカッションもふまえて、よりプロジェクト間の関連を深めるグループワークを行いました。くじ引きによる班分けで、プロジェクト実施者・マネジメントグループ混在の構成に。議論や発表の仕方は、グループごとに異なるものとなりました。

例えば、プロジェクトの特徴を細かく分析した上で関連を考えたグループ、「犯罪から子どもを守る」取組での実態や領域として足りない視点、アプローチを議論したグループもありました。また、全体議論では控えめだった若手参加者も、グループワークでは活発な発言が聞かれました。

終盤は、2日間議論したことを、ネットワーク構築に向けて具体的な企画に反映させるディスカッションをしました。領域内ネットワークの取り組みとして、今後、プロジェクトの枠組みを超えた個別勉強会をしよう、といった積極的な声もあがり、無事2日間の合宿を終了することができました。

領域内に留まらない開かれたネットワーク構築の一環として、2009年3月10日（火）にシンポジウムを開催します。いくつかのプロジェクト代表者による講演と全プロジェクトによるポスターセッションを企画しています。内容だけでなく、講演タイトルについてもこの合宿の中で、皆で考えましたので、どうぞご期待下さい。

最後に、本領域は、老若男女かかわらず、皆が関わっていくことが大切である問題に取り組んでいます。そして、多種多様な立場の方が、プロジェクト実施者・領域アドバイザーとして集まっていることも良い特徴ではないかと思っています。2日間ではありましたが、このような機会が、今後領域としての、協働の機会の一端になれば幸いです。

（領域担当 A.Y.）

2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報・今月の見どころ

【更新情報】

●国の取り組み

青少年白書（内閣府）

<http://www8.cao.go.jp/youth/suisin/hakusho.html>

「ネット上のいじめ」に関する対応マニュアル・事例集（学校・教員向け）
（文部科学省）

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/20/11/08111701.htm

平成20年度市町村における児童家庭相談業務の状況及び要保護児童対策
地域協議会（子どもを守る地域ネットワーク）の設置状況等について（概要）
（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/11/h1119-2.html>

その他の取り組みについてはこちら

→ <http://www.anzen-kodomo.jp/ministries/>

●イベント情報

平成21年1月31日～2月1日 日本安全教育学会 平成20年度日本安全教育
学会研究集会

<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/karima-lab/JASE/Research%20Meeting%20Prog081211.pdf>

平成21年2月7日 日本安全教育学会 第4回安全と養護教諭フォーラム
in 広島

<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/karima-lab/JASE/2009Hirosima1st.pdf>

その他のイベントについてはこちら

→ <http://www.anzen-kodomo.jp/event/>



【今月の見どころ】

今月の見どころは研究開発プロジェクトから、平成20年度採択課題の
紹介ページです。

今年度採択課題については、今まではタイトルだけの紹介でしたが、
各プロジェクトがどういった取り組みを、どういった人々と共に行っ
ているのかが詳しく紹介されています。

昨年度採択課題の紹介ページについても、内容を更新しましたので、
合わせてご覧ください！

研究開発プロジェクト

→ <http://www.anzen-kodomo.jp/program/research/>

3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング

【アクセスランキング】

- ☆ 1位 研究開発プロジェクト
<http://anzen-kodomo.jp//program/research/index.html>
- 2位 プロジェクト実施者インタビュー 第1回
<http://anzen-kodomo.jp//pdf/int01.pdf>
- 3位 研究開発プログラム
<http://anzen-kodomo.jp//program/index.html>

「犯罪からの子どもの安全メールマガジン」

- ▼メールマガジンに関する各種変更、配信登録・解除はこちら
<http://www.jst.go.jp/melmaga.html>
- ▼ご意見・ご感想、お問い合わせはこちら
c-info@anzen-kodomo.jp

■発行日 2008年12月24日

■発行元

(独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域

領域WEBサイト <http://www.anzen-kodomo.jp/>

社会技術研究開発センターWEBサイト <http://www.ristex.jp/>
